

(1) 研究主題

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う道徳教育の充実
～児童の実態を生かした学習指導法の工夫～

(2) 研究構想図

学校教育目標

○よく考える子 ○思いやりのある子 ○たくましい子

児童の実態

○楽しいことや目標に対して友達と協力して取り組むことができる。
○困っている人や下級生に対して思いやりをもって接する児童が多い。



△自分のよさや特徴に気付かず、自信をもつことができない。
△自分たちで考えて遊びやルールを工夫する経験が少ない。

研究主題

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う道徳教育の充実
～実態に合わせた学習指導法の工夫～

学校の重点内容項目

A 個性の伸長 B 親切、思いやり B 友情、信頼 D 生命の尊さ

道徳科の特質

道徳的諸価値について理解する

自己を見つめる

物事を多面的・多角的に考える

自己の生き方についての考えを深める

目指す児童像

自分のよさや友達のよさに気付き認め合う。

相手の気持ちを考えて、仲良く助け合う。

自他の生命や、身近な自然、生き物を大切にする。

研究の内容

低学年部会

中学年部会

高学年部会

みつばち部会

教材観

教材の特性
教材のよさ
ねらい

児童観

児童の実態
生活経験
教師の願い

指導観（指導方法）

導入の工夫・展開の工夫・終末の工夫
教材を提示する工夫・発問の工夫・
話し合いの工夫・書く活動の工夫
動作化、役割演技など表現活動の工夫・
板書を生かす工夫・説話の工夫